

Q&A

Q1 冊子等を作成する際にキャラクターを使用する場合、注意する点は何ですか？

A1 広報する内容に適した服装、色使い等に配慮してください。女性や男性のイメージではなく、多様な表現に配慮しましょう。

Q2 窓口で高齢者の方と接する際にもガイドラインに注意した方がいいですか？

A2 長年の言葉遣いに馴染みがある可能性もあります。対応する職員がガイドラインを理解しながら適切に使用するよう配慮しましょう。

Q3 「ママさん〇〇」という表現を見かけるので、使用してもよいですか？

A3 もともと女性が家庭や仕事に頑張っているという印象を与えます。また、「ママさん」という表現に子どもの有無の印象を与えます。可能な限り、使用をしないようにしましょう。

Q4 普段、女性社長、女医って言い方をすることがあるのですが、ダメですか？

A4 必ずしもダメということではありませんが、女性を例外的に見ることになります。呼ばれて嫌な方もいるかもしれませんので、配慮があるとよいでしょう。

Q5 職場の会議に男性しか参加していませんが、男性のみの会議風景のイラストを使用したらダメですか？

A5 職場の会議に男性のみ出席することもあるかと思います。チラシ等を作成する例においては、会議に男性、女性ともに参加することが一般的なので、両性が参加しているイラストが好ましいでしょう。

Q6 LGBTQの方への配慮は必ず必要ですか？

A6 必ず必要ということはありません。施設整備等の状況で配慮が難しいこともあるかと思います。どんなことを望んでいて、どんなことを望んでないか尋ねてみましょう。